



町長もカツオ薫焼きの実演中です



店内のカツオ薫焼きコーナーです

黒潮町が佐賀の国道56号沿いに建設を進めていた道の駅「なぶら土佐佐賀」が完成し、3月26日、現地落成式が行われた。施設は高知県産スギをふんだんに使用し、壁の一部などをガラス張りにした木造平屋（約520平方メートル）。なお、オープンは、4月14日。

この道の駅は、「地場産品の直売所を」との声が上がってから29年もの歳月を経てようやく建設となったもので、当町の産業振興や雇用の場の確保、及び観光振興による地域の活性化を図ると共に、幡多の玄関口として、既存の道の駅「ピオスおおがた」と共に幡多エリアの観光の拠点として観光振興に寄与することにも多いに期待されている。

なお、国土交通省は3月11日、この地域交流拠点施設「なぶら土佐佐賀」を道の駅に登録した。県内では22カ所目の登録。



待望の道の駅

「なぶら土佐佐賀」

竣工落成なる

